



# 学校だより

令和8年5月26日

学校教育目標

6 月 号

子どもたちがともに学び、創り出し、行動することができるようにします =輝く自分、輝く鶴小=  
横浜市立 鶴ヶ峯小学校 (<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

## 芽吹きの子、心も育つ毎日

副校長 和田 恭子

雨の合間にのぞく青空が、少しずつ夏の気配を運んでくる季節になりました。校庭では子ども達の声がいっそう元気に響き、教室には新しい学びへのワクワクが満ちています。

### 学年ごとの『育てる』活動がにぎやかです

#### 1年生

アサガオの種まき。「芽が3つ出たよ!」水やりの途中で嬉しそうに教えてくれる姿がとても愛らしいです。毎日少しずつ変わるアサガオの様子を、まるで友だちのように大切に見守っています。

#### 2年生

自分で選んだ野菜の苗植え。ミニトマト、ナス、キュウリ…「これに決めた!」という気持ちを込めて植えた苗。収穫の日を楽しみに、ていねいにお世話しています。

#### 3年生

ホウセンカ・ヒマワリの種まき。土にそっと種を置く手つきがとても真剣。夏に向けて、ぐんぐん伸びていく姿を観察していきます。お世話のついでに、青虫探しも真剣です。育てている青虫がさなぎになる様子を観察できたクラスもあるようです。



### 鶴小七不思議!? 二宮金次郎像のひみつ

正門に入って少し歩いたところにある二宮金次郎の銅像。薪を背負いながら本を読む姿は「勤勉」「儉約」の象徴として知られていますが、近年は『歩きながら読書』が危険視されることもあり、見方も少し変わってきました。

そんな中、子ども達が教えてくれた 鶴小七不思議のひとつ。なんと——「金次郎さんが持っている本を全部読むと呪われる」という噂があるそうです。よく見ると、しっかりとした文字が書かれています。

もちろん迷信ですが、子ども達の間で語り継がれる『学校の不思議』は、どこか微笑ましく、学校生活のスパイスになっています。大人になると、このような感覚を忘れてしまいます。子ども達の間には、いつもハッとさせられます。

